

令和5年度 学校だより

1月号

横浜市立上郷小学校

〒247-0026 横浜市栄区犬山町6番1号

電話 045-894-0761

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamigo/>



# 上郷

2024年 今年もよろしくお願ひいたします

学校長 海津 善宜

2024年が始まりました。新年のご挨拶の前に、令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復旧と復興を衷心よりお祈り申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。冬休みの間、子どもたちは幸い大きな事故やけがもなく、楽しく過ごせたようです。ご家庭や地域での、きめ細かなご指導・ご支援に感謝いたします。

さて、皆様は、初夢をご覧になったでしょうか。初夢とは、1月1日から2日にかけて見た夢とする説が一般的と言われています。縁起の良い初夢は、「一富士 二鷹 三茄子（いちふじ にたか きんすび）」と言いますが、その後に「四扇（しおうぎ、よんせん）、五煙草（ごたばこ）、六座頭（ろくざとう）」が続きます。三番目までは、「富士＝無事・鷹＝高く・なすび＝ことを成す」という縁起を担いだ語呂合わせからきているそうです。四番以降については、一番から六番がそれぞれ結びついていて、「富士と扇＝末広がりです子孫や商売繁盛を願う」、「鷹と煙草の煙＝上昇する運氣上昇を願う」、「茄子と座頭（剃髪した盲目の琵琶法師や按摩師）＝毛がないので怪我なしと洒落て家内安全を願う」という組み合わせになっているそうです。江戸時代の人々の迷信深さとちょっとした洒落っ気に、なるほどと感心させられます。

ところで、皆様は、ドイツの詩人ゲーテの言葉で「人生は全て次の二つから成り立っている。」の二つとは何だと思えますか。ご存じの方も多いたと思いますが、それは「したいけど、できない。」と「できるけど、したくない。」です。何となくわかったような、わからないようなといった感じに聞こえるかもしれませんが、よく考えて「今」という言葉を加えて、勝手に解釈してみると絶妙な言葉だと思えました。「したいけど、今は、できない。」ことは、今は、年齢や体力的なことなどでできなくても仕方がないことがあります。これからの努力や工夫次第で将来的に可能性が広がることだと思います。「今、できるけど、したくない。」は、日常によくあるように感じます。例えば、床に小さなゴミが落ちていたら、拾った方がいいか、そのままでもいいか、お年寄りが交差点で困っていたら、声を掛けた方がいいか、そのままにするかなどです。答えはどちらも決まっていると思います。しかし、実際は、答えではない方を選んでいることもあるのではないのでしょうか。自らチャンスを逃していることもあるとも言えます。私自身、思い起こせば、反省しなければならないことはたくさんあります。今年は、今まで面倒臭がって敬遠していたようなことを一つでも多く、改めてみようと思います。新年を迎えて、皆様も子どもたちも新たな目標を掲げたのではないのでしょうか。目標を実現するには、欲張ることなく、こつこつと努力を続けることが大切だと思います。そして、「今、できるけど、したくない。」ことを少しでも減らしていくことも遠回りのようで、実は目標に確実に近づいていけるのではないかと思います。

職員一同、子どもたちが目標に向かって飛躍する一年になるように教育活動を進めてまいります。2024年も変わらぬご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。

